

CentreCOM® 3600シリーズ バージョンアップ手順書

CentreCOM 3600シリーズをご利用いただき、誠にありがとうございます。

本書は、CentreCOM 3600シリーズのソフトウェアをバージョンアップする方法について説明しています。

最新バージョンのソフトウェアは、イメージファイルとして弊社ホームページ(<http://www.allied-teleซิส.co.jp>)にアップされていますので、そちらからダウンロードしてください。

ここでは、TFTPアプリケーションを使用して、ローカルホスト(PCまたはワークステーション)からリモートホスト(CentreCOM 3600シリーズ)へイメージファイルをコピー(Put)する方法を説明します。

用意するもの

- ・ イメージファイル
- ・ TFTPアプリケーションが実行できるPCまたはワークステーション
- ・ CentreCOM 3600シリーズ本体

ダウンロード手順

1. ローカルホスト(PCまたはワークステーション)およびCentreCOM 3600シリーズに、IPアドレスが設定されていることを確認します。
2. ローカルホストとCentreCOM 3600シリーズが、ネットワーク上で通信可能な状態にあることを確認します。
3. ローカルホストのTFTPクライアントから「put」を実行します。



TFTPアプリケーションのプラットフォームは、GUIを持ったものや、コマンド入力が必要なものなどさまざまです。TFTPアプリケーションの使用方法については、マニュアルなどをお読みください。

一般的なコマンドラインは次のようになります。

```
tftp <direction> <local_file> <host> <remote_file> <mode>
```

<direction> 「put」を指定します。

<local_file> イメージファイル名を指定します。

<host> リモートホスト(CentreCOM 3600シリーズ)のIPアドレスを指定します。

<remote_file> CentreCOM 3600シリーズに設定されているダウンロードパスワード(Download Password)を指定します。
ダウンロードパスワードのデフォルトは「AT3600」です。



ユーザーマニュアル 61ページ

<mode> バイナリ転送モード(octet、imageなど)を指定します。

4. ファイル転送が正常に終了すると、本体は自動的にリセットされます。
5. 管理情報(Administration)メニューから機器診断(Diagnostics)メニューオプションを選択して、ソフトウェアバージョンを確認してください。

 **オペレーションマニュアル 72 ページ**